

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 東浦町立藤江小学校_____

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 (_____)

住所 〒470-2105 _____
 愛知県知多郡東浦町大字藤江字仏131番地_____

E-mail : hfujshot@ma.medias.ne.jp__

Website : _____

児童生徒数：男子 217名 女子 217名 合計 434名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (_____)

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

- 環境および生物多様性に関する主な取組
 - 校区内にある竹林でのタケノコ掘り
 - ・竹林に囲まれた地域の環境に興味をもたせるためタケノコ掘りを行った。
 - 竹炭作り体験
 - ・地域の竹炭同好会の協力を得て竹炭づくり学習会を行った。竹炭作りの活動を通して、児童に作り方や竹炭の効能を伝え、地域学習を推進した。
 - ビオトープ観察
 - ・地域の自然観察指導員の協力を得て、ビオトープの清掃を兼ね、児童に水生生物やその環境に関心をもたせる会を開催した。
 - 野鳥観察会
 - ・地域の関係機関の方の協力を得て、定期的な野鳥観察を通して、藤江地区の自然環境に関心をもたせる活動を行った。(5・10・1月に実施。1月は親子での野鳥観察会)
 - 緑のカーテン
 - ・児童に地球環境や温暖化問題を考えるきっかけをつくるため、校舎南に網を設置し、緑のカーテンを育てた。
- 伝統文化に関する主な取組
 - 昔のくらしを知ろう
 - ・地域の老人会からの協力を得て、お年寄りの方から昔の遊びを児童が教えてもらえるようにし、一緒に楽しめる会を開催した。この会を通して伝統文化の継承および地域学習に取り組んだ。
 - 「だんつく」を学ぶ会
 - ・藤江地区に伝えられている県の無形民族文化財の「だんつく獅子舞」の指導を通して、地域の伝統芸能に触れる機会を設定した。
- 国際理解に関する主な取組
 - フィリピンの料理を学ぶ会
 - ・保護者でもあるフィリピン出身の方に講師をお願いし、フィリピンの文化の話や現地の料理作りを通して、異文化に触れる機会をもった。
 - 修学旅行
 - ・修学旅行で訪れる京都と奈良で旅行中の外国人との交流を計画。事前の学習および交流の中から、国際交流のきっかけづくりを企画・実行した。
 - 校長による講話
 - ・6年生対象に、海外赴任で経験した生活や体験を話し、国際理解を深めた。
- ユネスコスクールおよびESD活動についての情報発信の場
 - 藤江っ子まつり(ESD発表会)
 - ・推進してきた上記のような取組やESD活動でにより学んだことを、保護者や地域の人にも公開・発信する場を設定した。
 - 愛知県野生生物保護実績発表大会
 - ・野鳥観察活動や野鳥保護の活動をまとめ発表した。日本野鳥の会愛知県支部より表彰を受けた。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ()